

産業廃棄物処理計画書

令和2年6月30日

都道府県知事
(市長)

殿



提出者

住所

氏名

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号

大分県中津市耶馬溪町山形347
甲斐好廣

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	甲斐牧場
事業場の所在地	大分県中津市耶馬溪町山形347
計画期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	01 農業
②事業の規模	肉用牛 192頭
③従業員数	2人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>畜物のふん尿 自ら堆肥化</p> <p>畜物の死体 化成製場へ委託処理</p>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

自ら責任をもって管理する

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	郵便物のふん尿	郵便物の死体
	排出量	1862.4 t	2.4 t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	郵便物のふん尿	郵便物の死体
	排出量	1862.4 t	2 t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度 (令和元年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1862.4 t	t
	(これまでに実施した取組) 堆肥化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1862.4 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度 (令和元年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1240.4 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1240.4 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度 (令和元年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度 (令和元年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	動物の死体
	全処理委託量	2.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	(これまでに実施した取組) 動物の死体は、化製場へ委託して処理する。	

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	動物の死体
	全処理委託量	2 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t
	再生利用業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
	(今後実施する予定の取組) 動物の死体は、化製場へ委託して 処理する。	
※事務処理欄		

ふん尿発生量の計算方法

(「家畜排せつ物の発生量等に関する記録」の標準発生量値を使用)

たい肥生産量の計算方法

(財団法人畜産環境整備機構発行「家畜ふん尿処理施設の設計・審査技術」より)

乳用牛

ふん尿発生量合計 = 搾乳牛頭数 × ① + 乾・未経産牛頭数 × ② + 首成牛頭数 × ③

種類	1頭当たり排せつ物 発生量 (t/年/頭)	
	ふん	尿
搾乳牛	16.6	4.9 …①
乾・未経産牛	10.8	2.2 …②
首成牛	6.5	2.4 …③

たい肥舍方式

ふん尿の水分含量: 85%
生産たい肥の水分量: 66.55%
副資材: オガクズ
→ ふん尿量の減少割合: 82.7%

肉用牛

ふん尿発生量合計 = 2歳未満頭数 × ① + 2歳以上頭数 × ② + 乳用種頭数 × ③

種類	1頭当たり排せつ物 発生量 (t/年/頭)	
	ふん	尿
2歳未満	6.5	2.4 …①
2歳以上	7.3	2.4 …②
乳用種	6.6	2.6 …③

たい肥舍方式

ふん尿の水分含量: 81%
生産たい肥の水分量: 63.86%
副資材: オガクズ
→ ふん尿量の減少割合: 67.3%

豚

ふん尿発生量合計 = 肥育豚頭数 × ① + 繁殖豚頭数 × ②

種類	1頭当たり排せつ物 発生量 (t/年/頭)	
	ふん	尿
肥育豚	0.77	1.39 …①
繁殖豚	1.2	2.56 …②

固液分離・たい肥舍方式・尿は汚水処理のため計算に含まない

ふんの水分含量: 75%
生産たい肥の水分量: 39.3%
副資材: オガクズ
→ ふん尿量の減少割合: 63.8%

採卵鶏

ふん発生量合計 = 6ヶ月齢羽数(千羽) × ① + 6ヶ月齢以上羽数(千羽) × ②

種類	千羽当たり排せつ物 発生量 (t/年/千)	
	ふん	尿
6ヶ月齢未満	21.5	…①
6ヶ月以上	49.6	…②

たい肥舍方式

ふん尿の水分含量: 75%
生産たい肥の水分量: 39.3%
副資材: オガクズ
→ ふん尿量の減少割合: 63.5%

肉用鶏

ふん発生量合計 = 羽数(千羽) × ①

種類	千羽当たり排せつ物 発生量 (t/年/千)	
	ふん	尿
ブロイラー	47.5	…①

たい肥舍方式

ふん尿の水分含量: 35%
生産たい肥の水分量: 35.8%
副資材: オガクズ
→ ふん尿量の減少割合: 80.9%